

自然科学研究機構国立天文台 特任助教（年俸制職員、研究課題「大質量原始星に伴う円盤形成の観測的研究 ―低質量星から大質量星までの包括的理解―」）募集

【募集人員】 特任助教 1名

【職務内容】

国立天文台アルマプロジェクトでは、日本国内の大学に在籍する研究者に ALMA を用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

[https://researchers.alma-telescope.jp/j/support\\_programs/almagrant/](https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/)

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「大質量原始星に伴う円盤形成の観測的研究 ―低質量星から大質量星までの包括的理解―」を推進する特任助教を募集します。本研究課題の採択者である京都大学・大屋瑤子 講師の下、本特任助教には勤務時間の 100% を用いて本研究課題を推進すると共に、ALMA プロポーザルも積極的に提出していただきます。研究成果として、年 2 編以上の投稿論文の出版と年 2 件以上の ALMA プロポーザルの提出に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行っていただきます。

【研究課題】

- ・ 研究課題名：

（日本語名）大質量原始星に伴う円盤形成の観測的研究 ―低質量星から大質量星までの包括的理解―

（英語名）Observational Study of Disk Formation around High-Mass Protostars  
-What is the Universal Picture from Low-Mass to High-Mass?-

- ・ 研究概要：

原始星に伴う回転円盤構造の形成は、原始星の進化とその周りでの惑星形成の過程において重要な役割を果たすと考えられている。しかし、円盤構造の形成過程は、観測的にも理論的にも未だ概念的な理解に留まっている。低質量原始星天体においては、近年の ALMA 観測などによって、降着するエンベロープガスから回転円盤にかけての物理構造と化学組成が、相互に結びつきながら劇的に変化することが明らかになってきた。本研究では、統計的数の大質量原始星天体に付随する回転円盤構造を ALMA によって検出し、その特徴（中心星質量、円盤半径、化学組成など）を明らかにする。低質量原始星天体での結果とも総合することで、低質量から大質量までの幅広いスケールにかけての共通点と相違点を抽出し、円盤構造形成の観測的理解に迫る。

**【所属（勤務地）】** 国立大学法人 京都大学（京都府京都市）

※ 国立天文台で採用し、同日付で京都大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大学へ出向していただきます。

**【身分・待遇】**

- ・ 給与は年俸制。月額55万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限55,000円/月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。

**（出向時の勤務条件等）**

- ・ 勤務時間及び休日については京都大学の諸規則を適用します。
- ・ 週5日（月～金）8時30分～17時15分（休憩60分）を基本とする専門業務型裁量労働制勤務（土、日、祝日、年末年始は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇）
- ・ 敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

**【着任時期】** 原則として2024年4月1日または2024年10月1日

**【契約期間】**

- ・ 本特任助教の契約期間は試用期間（6カ月）を含めて原則2年間ですが、本研究課題は、本特任助教の着任から1年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が2年間延長されることがあります。さらに、3年半経つ日までに2回目の中間審査が実施され、契約期間が1年間延長されて最長5年間となる可能性があります。
- ・ ただし、着任前6か月以内に自然科学研究機構の有期雇用歴がある場合、通算有期雇用期間が10年を超えないように契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくこととなりますが、異動先で本特任助教を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくこととなります。この場合、異動時点での契約期間で雇用を終了し、契約期間の延長は行いません。

**【応募資格】**

- ・ 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。
- ・ 長基線観測データを扱った経験を有することが望ましい。
- ・ 基礎的なプログラミングの経験を有することが望ましい。

### 【応募方法】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てをPDFに変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。

alma-grant-recruit\_atmark\_alma.mtk.nao.ac.jp ( \_atmark\_ を@に置き換えてください)

※ PDF作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないようにしてください（メール一通につき最大10MB程度まで）。

※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く2日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。

※ メール の 件名 (Subject) には、応募する研究課題名を明記してください。

### 【提出書類】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てをPDFに変換してください。

- (1) カバーレター（研究課題名を明記すること）
- (2) CV
- (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）
- (4) 主要論文3編以内のPDFファイル
- (5) 職務に対する抱負と計画
- (6) 推薦書2通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）
- (7) 速やかに連絡できる本人連絡先

- ・ 応募締切：2023年12月12日（火） 日本時間 15:00 必着

### 【採用の決定】

書類選考の上、面接をオンラインで行う場合があります。なお、面接に要する費用は応募者の自己負担となります。

採用は国立天文台運営会議での承認が必要となります。

### 【問合せ先】

- ・ 応募に関する問合せ：

国立天文台 事務部総務課人事係

E-mail: job16-naoj-pap\_atmark\_nao.ac.jp ( \_atmark\_ を@に置き換えてください。以下同様。)

- ・ 研究内容に関わる問合せ：

京都大学 基礎物理学研究所 極限構造研究部門 大屋 瑤子 講師

E-mail: yoko.oya\_atmark\_yukawa.kyoto-u.ac.jp

・ その他：

国立天文台 アルマプロジェクト ALMA 共同科学研究事業担当

E-mail: alma-grant-inquiry\_atmark\_alma.mtk.nao.ac.jp

【その他】

- ・ 採用前に獲得した科学研究費等の外部資金を継続すること、あるいは採用後に獲得することは可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台アルマプロジェクトが判断した上で認められることになります。
- ・ 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。また、出産・育児・介護等のために休暇・休業を取得した場合には、履歴書にその旨、明記してください。業績を評価する際に配慮します。国立天文台の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの詳細は <https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/> を御覧ください。
- ・ 応募に際していただいた情報は、この選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任をもって破棄します。

【募集者名称】

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

以上